

Ⅳ－２ 【施策展開の方向性】 地域で支えあう安全で安心なまちへ

めざす姿

- ・災害に対する備えが充実している
- ・住民同士が助け合う体制が整っている
- ・区民が安全で、安心に暮らせる

成果目標

住んでいるまちが安全・安心だと感じる区民の割合 85%

戦略

(1) 自助・共助を基本とした災害に強いまちづくり

(めざす状態)

・住民各自が日頃から災害に対する備えを行い、災害が発生しても、避難行動要支援者(高齢者や障がい者等)を含めた地域の住民同士が救助や避難に助け合い、避難生活を送ることができる状態

(2) 犯罪の少ない安全で安心なまちづくり

(めざす状態)

・地域防犯活動に多くの住民が参加し、地域における防犯力を向上させることで、住んでいるまちが安全で安心だと感じて暮らすことができる状態



Ⅳ－２ 【施策展開の方向性】 地域で支えあう安全で安心なまちへ

具体的な取組み（例）

- ・避難訓練をはじめとする各地域の防災訓練の充実
- ・水害時避難ビルの確保
- ・防災パートナー登録制度の創設
- ・防災サミットの実施



大阪府トラック総合
会館（鳴野西2-11-2）



タイムズ・ピース・
スクエア立体駐車場
A棟・B棟・C棟
（今福西6-2-1～3）



ファーストパレス
（放出西3-6-1）

▲令和4年度 協定を結んだ3施設



▲城東区防災パートナー事業所第1号を登録



▲中学生と地域防災
リーダーによる消火訓練



▲第2回防災サミット

- ・防犯カメラの設置及び適正管理の実施
- ・青色防犯パトロールカーによる区内巡視、歳末夜間パトロールを実施
- ・子ども110番の家や子ども見守り活動等への積極的支援
- ・自転車盗防止及びひったくり防止カバー配布キャンペーンを区内各所で実施
- ・警察等と連携した「ALL城東!! 特殊詐欺被害防止プロジェクト」での取り組み
- ・犯罪発生件数の総件数が減少
（令和元年1,370件→3年1,025件）





Ⅳ－３ 【施策展開の方向性】 安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く 子どもを育むまちへ

めざす姿

- ・保育所、幼稚園などが充実し、安心して子育てができる
- ・子どもたちの可能性を育むまちとなっている

成果目標

これからも城東区で子どもを育てていきたいと
思っている子育て層の割合 93%

戦略

- (1) 子育て世帯が安心して、生み育て、働くことができるまちづくり
(めざす状態)
 - ・区民の皆さんがこれからも城東区で子どもを育てていきたいと思っている状態
 - ・保育所、幼稚園などが充実し、待機児童がない状態
- (2) 子どもたちの可能性を育むまちづくり
(めざす状態)
 - ・すべての子どもが確かな学力・体力を育むことができる状態
 - ・子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)が実現できている状態



Ⅳ－３ 【施策展開の方向性】

安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く 子どもを育むまちへ

具体的な取組み（例）

● 0歳児家庭見守り支援事業

3か月児健診から1歳6か月児健診までの第1子を育てている方を対象に保育士が定期訪問し、身体計測や育児相談、子育て支援施設などの情報提供を実施。

● プレパパ・プレママ育児体験イベントの開催

● わくわく子育てフェスティバル・絵本イベントの開催



IV－3 【施策展開の方向性】

安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く
子どもを育むまちへ

具体的な取組み（例）

●学校内における不登校生徒等の居場所 「スクールサポートルーム」（SSR）の整備

不登校支援の取組みとして、登校はできるけど教室に入ることができない、または集団での生活が難しい状況の児童や生徒などが、学校内で過ごすための居場所として区内市立小中学校に整備します。



●いじめ・不登校サミットの開催

いじめや不登校に関する課題や取組みについて、学校や地域、保護者と共有することにより、今後の取組みの検討に活かしていくことを目的に開催。

専門家による講演、保護者や地域関係者等を交えたシンポジウム、中学校代表生徒による、いじめの事例をもとにした意見交換など実施します。





IV－3 【施策展開の方向性】

安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く
子どもを育むまちへ

具体的な取組み（例）

●「教職員等人材バンク」の運用

学校園での勤務を希望される方を区広報誌やHPで募集し、区で事前登録いただいた方と学校とのマッチングにより採用する仕組みで、人材活用の活性化を図っています。

●「ヤングケアラー連絡窓口」・

「いじめ・不登校対策チーム連絡窓口」の設置

ヤングケアラー、いじめやいじめによる不登校の早期発見・早期対応を
目的として、専用の連絡窓口を区役所内に設置しています。





IV-4 【施策展開の方向性】 地域が支えあい、住み慣れた場所で安心して暮らせる まちへ

めざす姿

- ・障がいのある方、高齢者や子どもを地域のみんなが互いに見守り、支えあう
- ・地域で暮らす高齢者に医療・介護等の必要な支援を切れ目なく提供する

成果目標

地域でさまざまな福祉の担い手の協働により、支え合う活動ができて
いると感じている人の割合 65%

戦略

(1) 高齢者、障がい者、子どもを地域が互いに見守り、支えあうまちづくり

(めざす状態)

- ・地域住民、NPO、企業などさまざまな福祉の担い手の協働により、地域で支え合う活動ができている状態
- ・高齢者、障がい者など、支援を要する方を地域で把握できている状態

(2) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるまちづくり

(めざす状態)

- ・地域で暮らす高齢者に医療・介護等の必要な支援が切れ目なく提供されるよう、区内の医療・介護関係機関が円滑に連携できる状態
- ・区民が地域包括ケアについて認識し、支援を行う医療関係者や介護関係者とともにACP(人生会議)を行うことができる状態

(3) 必要な時に必要な支援が受けられるまちづくり

(めざす状態)

- ・被保護者の状況を的確に把握し、必要な時に必要な支援を行い自立を促せている状態





Ⅳ－４ 【施策展開の方向性】

地域が支えあい、住みなれた場所で安心して暮らせる
まちへ

具体的な取組み（例）

区における福祉・健康にかかる計画に基づく施策の推進 （PDCAサイクル）

○区食育推進プランの推進

地域共生社会の実現をめざし、区地域福祉プランを策定し、具体の取組み目標を設定し、取組みを進めています。

○区食育推進プランの推進

区民一人ひとりが、ライフスタイルにあわせて「食」を選択する力を身につけ、自らの食生活を変えていくための普及啓発活動などを推進するため、区食育推進プランを策定し、具体の取組み目標を設定し、取組みを進めています。

○区健康増進プラン（仮称）の策定・推進

区民、地域、行政、関係団体が一体となって、区民の健康増進を推進していくため、令和4年度、区健康増進プランを策定し、取組みを進めていきます。





Ⅳ－４ 【施策展開の方向性】 地域が支えあい、住みなれた場所で安心して暮らせる まちへ

具体的な取組み（例）

○障がい者スポーツの振興（ボッチャ大会の開催）

区地域自立支援協議会等と連携し、障がいの有無にかかわらず、だれもがスポーツに親しめる地域共生の社会づくりを進めます。



○スマートエイジングの推進

高齢化が進む森之宮地域において、森之宮病院、UR都市機構に加え、大阪公立大学と新たに連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを進めます。



○福祉と防災の連携の取組み

支援が必要な方々が災害時においても必要な支援ができるよう、福祉関係者、地域防災関係者、行政が連携して取組みを進めていきます。

IV-4 【施策展開の方向性】 地域が支えあい、住みなれた場所で安心して暮らせるまちへ

具体的な取組み（例）

医療・介護・福祉関係の多職種の方々と区において設置している「ネットワーク会議」を通じて、区民皆様の暮らしを支える取組みを進めます。

11月30日は
人生会議の日

ACP
人生会議

もしものときのために
人生会議

遺言・ケアする前に
大切なことを考えてみましょう

信頼できる人とともに始めてみませんか？

誰にでも、急に訪れる大きな病気やケガをする可能性があります。自分の危機が訪れた状態になると、約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり、誰かを人に任せたりできなくなると言われています。もしものときのために、あなたが大切にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを望むか、前もって考え、関係の信頼する人ら（家族や、かかりつけ医、介護関係者など）と共有する取組みを「人生会議（ACP）」といいます。医療まで自分らしく生きるとともに、自分が希望する医療やケアを受けるための大切な取組みです。RACPは「アドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning）」の略称です。また、人生会議はACPの要件です。

つなげよう こころの声

記 載 日：2022 年 月 日 本人氏名：_____

感 じ 合 った 日：2022 年 月 日 関係者名：_____

人生会議の進め方

「これからどのように過ごしていくか？」事前に大切なことや希望を伝えるために、みんなで一緒に考えて話し合い、共有しましょう。STEP①～④の流れを参照していきましょう！

STEP①
あなたが大切にしていることは何ですか？

遺言・ケアする前に、大切にしていることを考えてみましょう

STEP②
あなたが信頼できる人は誰ですか？

もしものときに、あなたの気持ち・希望を伝えてくれる人を選びましょう。

STEP③
信頼できる人や医療（かかりつけ医）・ケアチームと話し合いましたか？

例えば、現在の健康状態を把握し、どんな医療やケアを希望するのか相談しましょう。

STEP④
話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか？

考えや話し合ったことは書き留めておきましょう。

心身の状態に応じて意思は変化します。何度でも 繰り 返し考え話し合しましょう

※この取組は、個人の意思の自由性によって考え、進められるものです。知力や認知機能が低下した方への十分な配慮が必要です。

意思決定支援（いっばい希望を叶かせよう）プロジェクトチームからのポイント&アドバイス

希望しながら、人生を自分らしく過ごすには、どうしたらよいのか考えてみる。話し合いは、かきこまることなく、疑問をいふ、ききとらえることが大切です。話し合ったことは、書き留めておくことが大切です。

自分を受け入れ、希望を伝える。自分や家族の希望や考えは、必ずしも家族や親戚に伝わる必要はない。信頼できる人であれば、話し合っても大丈夫。必要に応じて、医療やケアの専門家（医師や看護師など）と話し合ってみよう。

自分や家族の希望や考えは、必ずしも家族や親戚に伝わる必要はない。信頼できる人であれば、話し合っても大丈夫。必要に応じて、医療やケアの専門家（医師や看護師など）と話し合ってみよう。

自分や家族の希望や考えは、必ずしも家族や親戚に伝わる必要はない。信頼できる人であれば、話し合っても大丈夫。必要に応じて、医療やケアの専門家（医師や看護師など）と話し合ってみよう。

自分や家族の希望や考えは、必ずしも家族や親戚に伝わる必要はない。信頼できる人であれば、話し合っても大丈夫。必要に応じて、医療やケアの専門家（医師や看護師など）と話し合ってみよう。

活用しよう！人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）シート

医療・希望・思いについて、気持ちを整理するために記入するシートです。人生会議をするときに役立ちます。

詳しくはこちらからダウンロードできます！

問合せ：保健福祉課（保健） ☎ 6330-9982 ☎ 6330-9936

ステップ1：あなたの希望や思いについて考えましょう

あなたが大切にしたいことは何ですか？（いくつ選んでも構いません）

☐ 家族や友人と過ごすことがあり、生き生きと暮らせること

☐ 痛みや苦しみを感じること、病気が治るまで、生き生きと暮らせること

☐ 歩ける状態を維持すること、病気が治るまで、生き生きと暮らせること

☐ 人生を全うしたと感じること ☐ 社会や家族で役割を果たせること

☐ 痛みや苦しみが少なく過ごすこと ☐ 自然に死んでいくこと

☐ 納得いくまで十分な医療を受けられること ☐ 戸口に支えられること

☐ その他（ ）

ステップ2：健康について学び、考えましょう

1) あなたは自分の「健康」について意識して生活していますか？ ☐ はい ☐ いいえ

2) 医療決定や病状について詳しい知識を求めていますか？ ☐ はい ☐ いいえ

3) 病状の進行について希望がありますか？ 進歩する方は「もし病状になったら」と仮定して

コイでも長く生きられるような治療を受けたい

☐ どんな治療でも、とにかく病状が治ることを目指した治療を受けたい

☐ 苦痛を減らさず、自分らしく生きること、病状を治るまで、生き生きと暮らせること

☐ できるだけ自然な形で最期を迎えられるような必要最低限の治療を受けたい

☐ その他（ ）